

令和元年度事業報告

(自 平成31年4月1日～至 令和2年3月31日)

年月日	事業名	開催場所	摘 要
平 31. 4. 19	講演会	東京・新宿区四谷区民ホール	<p>平成31年度文部科学省主催の科学技術週間行事の一翼に参加し「第58回電気科学技術講演会」を開催。テーマは『進化する“くるま”の電動化と要素技術』。</p> <p>[講演内容及び講師]</p> <p>(1) 総論 くるまの電動化の歴史と展望 (渡邊昇治講師：経済産業省 大臣官房審議官 (産業技術環境局担当) 自動車技術会評議員)</p> <p>(2) 電動車の動向 (上原隆史講師：トヨタ自動車株式会社 パワートレインカンパニー パワートレイン製品企画部 チーフエンジニア)</p> <p>(3) 車載用リチウムイオン電池の現状と今後の展望 (小林弘典講師：国立研究開発法人 産業技術総合研究所 エネルギー・環境領域 電池技術研究部門 総括研究主幹 博士 (理学))</p> <p>(4) 電動車両用パワーエレクトロニクスの技術動向 (奥田達也講師：三菱電機株式会社 先端技術総合研究所 モーター駆動システム技術部 部長)</p> <p>(5) 自動運転の動向 (渡辺純講師 日産自動車株式会社 企画・先行技術開発本部 技術企画部 主管)</p> <p>(6) 空飛ぶクルマの現状と将来展望 (三上建治講師：経済産業省 製造産業局 デジタル戦略官)</p> <p>電気自動車は社会に大きな変化をもたらす可能性があることから、第58回電気科学技術講演会では、6名の講師をお迎えして、電気自動車の動向および要素技術に加えて、自動運転、さらには、近年話題になっている「空飛ぶクルマ」についても講演していただいた。</p> <p>会場には、首都圏各地に加え、近畿、中部から114名の来場者があった。講師の方々には、技術をわかりやすく説明するスライドやサービスイメージを動画で見せるなどの工夫をしていただき、自動車の電動化が暮らしに与えるインパクトが実感できる内容となった。</p> <p>当日、アンケート調査を実施した結果。来場者114名のうち、アンケートの回収枚数は54通、回収率は47.4%。アンケートのご回答者は40代以上が圧倒時に多いこと、住所はほぼ首都圏全域を占めているが、中でも東京が半数以上を占め、次いで神奈川、埼玉であった。</p>
令 1. 5. 28	役員等候補者選出委員会	学士会館	<p>第1回役員等候補者選出委員会 (令和元年6月期選出候補者) を開催。</p> <p>出席者：役員等候補者選出委員会委員4名全員が出席。 (祖父江和夫氏、手島康博氏、早野敏美氏、持田二郎氏)</p> <p>委員4名全員の出席により、本委員会が有効に成立することを確認した。祖父江和夫氏が議長の席につく。</p> <p>[議事]</p> <p>議長より、令和元年6月21日開催予定の定時評議員会終了をもって任期満了理事1名、理事1名辞任に伴う新任理事1名、辞任評議員5名の後任評議員5名の候補者を選任するとの趣旨を説明。議事の進行は、以下の手順でなされた。</p> <p>(1) 候補者の紹介と質疑</p> <p>(2) 評議員会への提案の適否の決議</p>

年月日	事業名	開催場所	摘 要
			<p>慎重審議の結果、2名の理事候補者、5名の評議員候補者それぞれについて、委員全員による全会一致をもって評議員会に改選役員候補として提案することを承認した。</p> <p>〔理事候補〕 安田 浩氏（公益財団法人 電気科学技術奨励会 代表理事(会長)） 松井利行氏（公益財団法人 電気科学技術奨励会 事務局長）</p> <p>〔評議員候補〕 太田光昭氏（株式会社 昭電 代表取締役社長）、 佐藤 晃氏（東京地下鉄株式会社 鉄道本部電気部 部長）、 関川茂夫氏（株式会社 フジクラ 常務執行役員）、 樋口達也氏（中部電力株式会社 電力ネットワークカンパニー 東京事業所 所長）、 福田 守氏（株式会社安川電機 技術開発本部 技術企画部長）</p> <p>審議終了後、本選出委員会の決議内容をまとめた選出候補者名簿を評議員会に提示することを宣して、第1回役員等候補者選出委員会を閉会した。</p>
令1.6.5	理事会 (第1回)	学士会館	<p>令和元年度第1回理事会（平成30年度決算承認理事会）を開催。</p> <p>出席者：理事総数14名中、出席理事9名（横山明彦氏、梶原滋正氏、富岡義博氏、古澤 宏氏、三木一克氏、村上和夫氏、本田直志氏、安田一成氏、護田一郎氏）</p> <p>欠席理事：5名（安田浩氏、間宮馨氏、川上景一氏、寒川哲臣氏、高本学氏）</p> <p>出席監事：2名（仲田一元氏、持田二郎氏）</p> <p>出席顧問：1名（早野敏美氏）</p> <p>横山理事長が議長席につき、本理事会の議決は定足数（理事の過半数）を満たしていることを確認した。議事に先立ち、平成30年度第4回理事会（平成31年3月4日開催）の議事録を確認した。</p> <p>〔議事〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1号議案 平成30年度事業報告（案）承認の件 慎重審議の結果、全員異議なく承認した。 ・第2号議案 平成30年度計算書類等（案）承認の件 慎重審議の結果、全員異議なく承認した。 ・第3号議案 定時評議員会の招集の件 事務局から、下記に関する件を承認・決議いただく定時評議員会を招集する旨を提案。 日時：令和元年6月21日（金）11時より 場所：学士会館301号室 議題：i) 役員等候補者選出委員会を踏まえての理事・評議員選任の件 ii) 平成30年度事業報告承認の件 iii) 平成30年度計算書類等承認の件 iv) 役員等候補者選出委員会規程改正の件 v) 役員等に対する報酬及び費用に関する規程改正の件 vi) その他 審議の結果、全員異議なく承認した。 ・第4号議案 役員等候補者選出委員会による理事・評議員推薦の件 事務局から、理事1名の任期満了、理事1名の辞任に伴う新理事候補者の推薦、評議員5名の辞任に伴う新評議員候補の推薦があり、5月28日に、

年月日	事業名	開催場所	摘 要
			<p>役員等候補者選出委員会が開催されたことを報告。</p> <p>役員等候補者選出委員会による審議の結果、推薦を受けた新理事候補、新評議員候補全員が適格と認められたことを報告。適格と認められた新理事候補、新評議員候補は、以下のとおり。</p> <p>〔新理事候補者〕 安田 浩氏、松井利行氏</p> <p>〔新評議員候補者（50音順）〕 太田光昭氏、佐藤 晃氏、関川茂夫氏、樋口達也氏、福田 守氏</p> <p>慎重審議の結果、役員等候補者選出委員会による判定のとおり、全員異議なく承認した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第5号議案 「役員等候補者選出委員会規程」改正の件 審議の結果、附則を除き、原案を全員異議なく承認した。 ・第6号議案 「役員等に対する報酬及び費用に関する規程」改正の件 審議の結果、以下の点を除き、原案を全員異議なく承認した。 ○第3条の「選考委員会委員」を「審査委員会委員」に修正 ○第3条の「報酬」を「30,000円以内」から「40,000円以内」に修正 ○第4条の2の「支払い額、支払い方法等については内規によるものとする」を削除 ○附則に新たに第2項「2.平成31年3月19日改正」を追加し、現在の第2項を第3項「3.令和元年6月21日一部改正」と修正 <p>〔報告事項〕</p> <p>i) 第67回電気科学技術奨励賞受賞候補推薦募集及び今後の日程の件 第67回電気科学技術奨励賞について、4月末より、周知・募集を行っていること、及び今後の日程について報告。</p> <p>ii) 第58回電気科学技術講演会の報告 第58回電気科学技術講演会（4月19日開催）について報告</p> <p>iii) 代表理事・業務執行理事の職務の執行状況の報告 平成31年3月19日から令和元年6月4日までの代表理事、業務執行理事の職務執行状況について報告。 以上をもって議事を終了した。</p>
令1.6.21	評議員会	学士会館	<p>令和元年度定時評議員会（平成30年度決算書類の承認）を開催。</p> <p>出席者：評議員20名中、出席評議員13名（江頭 誠氏、尾口裕介氏、北島尚史氏、後藤康之氏、佐々木昭悟氏、軸屋尚久氏、篠原郁二氏、祖父江和夫氏、田中 明氏、塚田龍也氏、秦 利男氏、松本袈裟文氏、安川秀樹氏）</p> <p>他に、当会監事・仲田一元氏が監査報告人、 代表理事（理事長）・横山明彦氏がオブザーバーとして出席。</p> <p>欠席評議員：7名（秋山靖裕氏、太田昭吾氏、鈴木貞二氏、園原吉光氏、中谷竜二氏、松田薫氏、吉田隆氏）</p> <p>議長に祖父江和夫氏を選出する。本評議員会の議決は定足数（評議員の過半数）を満たしていることを確認した後、議事録署名人として、江頭誠氏、尾口裕介氏を指名した。</p> <p>議事に先立ち、平成30年度臨時評議員会議事録（平成31年3月19日開催）を確認した。</p> <p>〔議事〕</p>

年月日	事業名	開催場所	摘 要
			<p>・第1号議案 役員等候補者選出委員会を踏まえての理事・評議員選任の件 理事1名の任期満了、理事1名の辞任に伴う理事候補者の推薦、評議員5名の辞任に伴う評議員候補の推薦があった旨の事務局報告を受け、5月28日に役員等候補者選出委員会が開催され、推薦を受けた理事候補、評議員候補全員が適格と認められたことを確認。</p> <p>慎重審議の結果、役員等候補者選出委員会による判定のとおり、全員異議なく決議・承認した。</p> <p>〔新理事選任者〕 安田 浩氏、松井利行氏</p> <p>〔新評議員選任者（50音順）〕 太田光昭氏、佐藤 晃氏、関川茂夫氏、樋口達也氏、福田 守氏</p> <p>・第2号議案 平成30年度事業報告承認の件 慎重審議の結果、「平成30年度事業報告（案）」の「平成30年度臨時評議員会（平成31年3月19日開催）」の第1号議案の記述を、本評議員会で確認された同議事録の内容に合わせるよう修正するほかは、原案どおり承認された。</p> <p>・第3号議案 平成30年度計算書類等承認の件 慎重審議の結果、全員異議なく承認した。</p> <p>・第4号議案 役員等候補者選出委員会規程改正の件 事務局から、「役員等候補者選出委員会規程」の改正案が提出され、慎重審議の結果、原案を全員異議なく承認した。</p> <p>・第5号議案 役員等に対する報酬及び費用に関する規程改正の件 事務局から、「役員等に対する報酬及び費用に関する規程」について、改正案が提出された。</p> <p>慎重審議の結果、内規案の第3条の3（支払い額）に、支払い対象者が交通費を受け取らない選択肢もある旨の文言を追加し、アンケートの回答によってこの選択ができるようにするという修正を加えることを前提として、改正案は承認された。</p> <p>〔報告事項〕</p> <p>i) 第67回電気科学技術奨励賞受賞候補推薦募集及び今後の日程の件 第67回の電気科学技術奨励賞について、4月末より周知を行い、受賞候補者の募集を行っていること、及び今後の日程（6月28日の応募の締切り、第1回、第2回の審査委員会、11月20日の贈呈式まで）について報告。</p> <p>ii) 第56回電気科学技術講演会（平成31年4月19日開催）の報告 事務局から、第58回電気科学技術講演会を予定どおり4月19日に新宿区立四谷区民ホールにおいて開催したこと、及び聴講者によるアンケート結果を報告。</p> <p>以上をもって議事を終了した。</p>

年月日	事業名	開催場所	摘 要
令1. 6. 21	理事会 (第2回)	学士会館	<p>令和元年度第2回(臨時)理事会を開催。</p> <p>出席者：理事総数14名中、出席理事9名(間宮 馨氏、横山明彦氏、梶原滋正氏、高本 学氏、古澤 宏氏、三木一克氏、村上和夫氏、安田一成氏、松井利行氏)</p> <p>欠席理事5名(安田 浩氏、川上景一氏、寒川哲臣氏、富岡義博氏、本田直志氏)</p> <p>出席監事：2名(仲田一元氏、持田二郎氏)</p> <p>出席顧問：1名(早野敏美氏)</p> <p>横山理事長が議長席につき、本理事会の議決は定足数(理事の過半数)を満たしていることを確認した。議事に先立ち、令和元年度第1回理事会(令和元年6月5日開催)の議事録を確認した。</p> <p>[議事]</p> <p>・第1号議案 代表理事(会長)、業務執行理事(専務理事)選出の件 出席理事から、代表理事(会長)に安田 浩氏、業務執行理事(専務理事)に村上和夫氏を推薦する旨の提案があった。 この提案を諮ったところ、全員異議なく承認した。</p> <p>[報告事項]</p> <p>i) 理事、評議員選任の件 令和元年度定時評議員会において、理事1名の任期満了、理事1名の辞任に伴い新たに理事2名、評議員5名の辞任に伴い新たに評議員5名が選任されたことを報告。選任された新任理事、新任評議員は以下のとおりである。</p> <p>[新任理事] 安田 浩氏、松井利行氏</p> <p>[新任評議員(50音順)] 太田光昭氏、佐藤 晃氏、関川茂夫氏、樋口達也氏、福田 守氏 以上をもって議事を終了した。</p>
令1. 7. 3	分類部会	学士会館	<p>第67回電気科学技術奨励賞受賞候補分類部会を開催。</p> <p>出席者：分類部会委員4名全員(稲月勝巳氏、江頭 誠氏、祖父江和夫氏、田中一彦氏)が出席。</p> <p>都合により、安田 浩会長、横山明彦理事長は欠席。</p> <p>議事：第67回電気科学技術奨励賞応募作の分類分けについて 江頭 誠氏が座長席につき、第67回(令和元年度)電気科学技術奨励賞の応募作(受賞候補)39件(107名)の審査5分野(電力関係、産業・交通関係、民生機器関係、情報・通信関係、教育関係)への分類分けについて審議した。</p> <p>受賞候補による希望分野、及び応募作の内容に基づき、応募作の審査分野を、それぞれ、電力関係10件、産業・交通関係9件、民生機器関係6件、情報・通信関係11件、教育関係3件とすることで委員の意見が一致し、7月10日に開催される第1回審査委員会に提案することになった。</p>
令1. 7. 10	顕彰(第67回奨励賞第1回審査委員会)	学士会館	<p>第67回電気科学技術奨励賞第1回審査委員会を開催。</p> <p>出席者：横山明彦審査副委員長、及び、審査委員20名中、17名(代理出席含む)が出席。</p> <p>都合により、安田 浩審査委員長は欠席。</p> <p>7月3日開催の分類部会による提案のとおり、応募作39件の審査分野を、</p>

年月日	事業名	開催場所	摘 要
			<p>電力関係 10 件、産業・交通関係 9 件、民生機器関係 6 件、情報・通信関係 11 件、教育関係 3 件とすることが承認され、速やかに審査を開始することに決定した。</p> <p>審査委員 20 名（委員長、副委員長を除く）を 5 分野に分け、各委員は、それぞれ担当分野の書類審査（基礎審査）を行い、審査結果（基礎審査表）を 8 月 30 日までに事務局に提出することになった。</p>
令 1. 9. 9	顕彰（第 67 回奨励賞第 2 回審査委員会）	学士会館	<p>第 67 回電気科学技術奨励賞第 2 回審査委員会を開催。</p> <p>出席者：横山明彦審査副委員長、及び、審査委員 20 名中、19 名（代理出席含む）が出席。</p> <p>都合により、安田 浩審査委員長は欠席。</p> <p>〔第一次審査（基礎審査）〕</p> <p>出席委員（副委員長を除く）が、審査 5 分野（電力関係、産業・交通関係、民生機器関係、情報・通信関係、教育関係）に分かれて第一次審査（基礎審査）を行い、電気科学技術奨励賞候補として、19 件（55 名）の受賞候補を決定した。</p> <p>〔第二次審査（総合審査）〕</p> <p>第一次審査終了後、全審査委員による第二次審査（総合審査）に移る。第一次審査による決定のとおり、19 件（55 名）の受賞候補を承認した。</p> <p>さらに、受賞候補の中で最も高い評価を受けた 1 件の候補を文部科学大臣賞に決定し、それに次ぐ評価を受けた 1 件の候補を電気科学技術奨励会会長賞に決定した。</p> <p>なお、文部科学大臣賞には、株式会社富士通研究所、Fujitsu Consulting (Canada) Inc. による応募作が選出され、電気科学技術奨励会会長賞には、パナソニック株式会社による応募作が選出された。</p> <p>最後に、事務局より、贈呈式を 11 月 20 日（水）に東京神田・学士会館において実施する旨がアナウンスされた。</p>
令 1. 9. 25	理事会（第 3 回）	学士会館	<p>令和元年度第 3 回（臨時）理事会を開催。</p> <p>出席者：理事総数 14 名中、出席理事 10 名（間宮 馨氏、横山明彦氏、梶原滋正氏、川上景一氏、寒川哲臣氏、高本 学氏、三木一克氏、村上和夫氏、安田一成氏、松井利行氏）</p> <p>欠席理事：4 名（安田 浩氏、富岡義博氏、古澤 宏氏、本田直志氏）</p> <p>出席監事：2 名（仲田一元氏、持田二郎氏）</p> <p>出席顧問：1 名（早野敏美氏）</p> <p>横山理事長が議長席につき、本理事会の議決は定足数（理事の過半数）を満たしていることを確認した。議事に先立ち、令和元年度第 2 回（臨時）理事会（令和元年 6 月 21 日開催）の議事録を確認した。</p> <p>〔議事〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第 1 号議案 第 67 回電気科学技術奨励賞受賞者承認の件 令和元年度第 67 回電気科学技術奨励賞の受賞者を、9 月 9 日の同賞審査委員会の決定どおり承認した。 ・第 2 号議案 理事 1 名の辞任、並びに暫定的に理事長が会長を兼任する件 事務局から、代表理事（会長）の安田浩氏が、健康上の理由により、令和元年 9 月 25 日付で当会理事を辞任することとなった旨を報告。この結果、代表理事（会長）が空席となるが、理事長も代表権を有することから、当面、

年月日	事業名	開催場所	摘 要
			<p>組織の運営には支障がないことを報告。</p> <p>ただし、会長を置くことは定款に記載されているため、理事長の横山明彦氏が、暫定的に会長も兼任することが事務局より提案された。</p> <p>この提案を諮ったところ、全員異議なく承認した。</p> <p>・第3号議案 電気科学技術講演会の実施について</p> <p>事務局より、予算面並びに要員面の課題から、電気科学技術講演会を隔年開催とすることが提案された。</p> <p>慎重審議の結果、これまでの講演会の開催時期や規模（講演者の数、会場等）にこだわらず、テーマや規模を絞ったセミナー等も検討し、開催の継続に努めることとなった。</p> <p>[報告事項]</p> <p>i) 評議員1名の辞任について</p> <p>評議員の尾口裕介氏が、所属組織（東海旅客鉄道株式会社）での人事異動に伴い辞任することとなった旨を報告。</p> <p>ii) 行事日程について</p> <p>当会の令和元年後半～令和2年の行事予定について報告。</p> <p>以上をもって議事を終了した。</p>
令1. 11. 20	顕彰（第67回電気科学技術奨励賞贈呈式）	学士会館	<p>第67回 電気科学技術奨励賞贈呈式及び祝賀会を開催。</p> <p>(1) 贈呈式（16:30～17:30）</p> <p>文部科学省研究振興局長、総務省国際戦略局長、国土交通省大臣官房技術総括審議官、経済産業省資源エネルギー庁長官（いずれも代理出席）のご臨席の下、贈呈式を開催した。</p> <p>贈呈式には、受賞者（同伴者及び御家族等を含む）71名、電気科学技術奨励会役員・審査委員・来賓等89名、総勢160名が出席。</p> <p>受賞者には、電気科学技術奨励会の横山明彦会長より、電気科学技術奨励賞の賞状、研究助成金、記念楯（雷神像青銅板入）が授与された。</p> <p>引き続き、文部科学大臣賞（株式会社富士通研究所、Fujitsu Consulting（Canada） Inc. の3名）が文部科学大臣（代理）から授与され、電気科学技術奨励会会長賞（パナソニック株式会社の3名）が電気科学技術奨励会会長から授与された。</p> <p>その後、文部科学省研究振興局長、総務省国際戦略局長、国土交通省大臣官房技術総括審議官、経済産業省資源エネルギー庁長官のご祝辞（いずれも代読）が披露された。</p> <p>式典の最後に、文部科学大臣賞に輝いた株式会社富士通研究所の受賞者により、受賞作の内容を解説するプレゼンテーションが行われた（ステージ上のスクリーンへのスライド投射）。</p> <p>(2) 祝賀会（18:00～19:10）</p> <p>電気科学技術奨励会の横山明彦会長による祝辞と乾杯の音頭で祝賀会が開始された。立食形式の祝賀会の席上、千代田区長・石川雅己氏の祝電が披露され錦上華を添えた。</p> <p>最後に、電気科学技術奨励会顧問の早野敏美氏が中締め挨拶を行い、会はお開きとなった。</p>
令2. 2. 5	分類部会	学士会館	<p>電気科学技術奨励賞分類部会を開催。</p> <p>出席者：横山明彦会長、及び、分類部会委員4名全員（稲月勝巳氏、江頭 誠</p>

年月日	事業名	開催場所	摘 要
			<p>氏、祖父江和夫氏、田中一彦氏) が出席。 議事：電気科学技術奨励賞 分類の定義について 江頭 誠氏が座長席につき、電気科学技術奨励賞の分類の定義について検討を行った。 議論の結果、以下の事項が決定された。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 従来の応募規定で定められている募集分野は基本的に変えず、用途（応用分野）で分類するものとする。ただし、近年の応募作の傾向から、分野の名称に若干の修正を行う。修正の内容は以下のとおり。 <ol style="list-style-type: none"> (1) 分野 A の「電力分野」を「電力・エネルギー分野」に修正。 (2) 分野 C の「民生機器分野」を「家電・民生機器及びエレクトロニクス分野」に修正。 2. 応募規定の補足として、新たに、各募集分野の定義（内容）を定めた別紙を用意する。 3. 別紙に記載するのは、以下の内容とする。 <ol style="list-style-type: none"> (1) 基本分類（用途についての定義） (2) 大分類（具体的な技術内容） 4. 別紙には、以下の記述も盛り込む。 <ol style="list-style-type: none"> (1) 分野は、基本的に技術の用途（応用分野）による。 (2) ただし、応募者が、要素技術を特に評価してもらいたい場合、その要素技術に応じた希望分野を選択し、応募書類の末尾等にその旨を記載する。 <p>以上の決定内容を、令和 2 年 3 月 10 日に開催される「令和元年度第 4 回理事会」に諮ることとなった。理事会で承認された後、第 68 回（令和 2 年度）電気科学技術奨励賞の受賞候補推薦募集（応募書類）に反映することとなった。</p>
令 2. 3. 10	理事会 (第 4 回)	学士会館	<p>令和元年度第 4 回理事会を開催。 出席者：理事総数 13 名中、出席理事 10 名（横山明彦氏、間宮 馨氏、梶原滋正氏、川上景一氏、高本 学氏、古澤 宏氏、村上和夫氏、本田直志氏、安田一成氏、松井利行氏） 欠席理事：3 名（寒川哲臣氏、富岡義博氏、三木一克氏） 出席監事：1 名（仲田一元氏） 出席顧問：1 名（早野敏美氏）</p> <p>横山会長が議長席につき、本理事会の議決は定足数（理事の過半数）を満たしていることを確認した。議事に先立ち、令和元年第 3 回（第 3 回）理事会（令和元年 9 月 25 日開催）の議事録を確認した。</p> <p>[議事]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第 1 号議案 令和 2 年度事業計画書（案）の件 事務局から、令和 2 年度（令和 2 年 4 月 1 日～令和 3 年 3 月 31 日）の事業計画として、主な事業（1. 第 68 回電気科学技術奨励賞の贈呈、2. 第 59 回電気科学技術講演会の開催、3. 媒体の特長を活かした情報発信、4. 賛助会員・寄附者の維持・拡大による財源の安定確保）について各項目別に説明があり、審議に入る。 慎重審議の結果、全員異議なく承認した。 ・第 2 号議案 令和 2 年度収支予算書（案）の件 慎重審議の結果、全員異議なく承認した。

年月日	事業名	開催場所	摘 要
			<p>・第3号議案 第68回電気科学技術奨励賞受賞候補推薦募集に関する件 事務局から同議案の概要を説明。推薦募集の書類を全国の電力会社、電機関連会社、各種団体、研究施設、大学・工業高専等へ発送し、周知を図るほか、Web サイトを通じての告知を行うことを説明。今回（第68回）の募集より、電気科学技術奨励賞 応募作分類部会によって新たに定められた募集分野（電力・エネルギー分野、産業・交通分野、家電・民生機器、及びエレクトロニクス分野、情報・通信分野、教育分野）についての定義を別紙として添付することが提案された。さらに、審査委員会の構成を説明し審議に入る。</p> <p>慎重審議の結果、応募規定の一部を修正する（誤解を招く可能性のある表現、及び誤植等の修正）ことを前提に、原案が承認された。</p> <p>・第4号議案 第59回電気科学技術講演会の件 事務局から、第59回の同講演会を、以下の案で進めることが提案された。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○全体テーマについては、以下の2案で検討 （案1）「AI 技術の電力・エネルギー分野への応用」 （案2）「電力・エネルギー分野における DX」 ○東京大学 先端電力エネルギー・環境技術教育研究センター（APET）と、電気科学技術奨励会の共催で実施する。 ○開催日は、2020年7月後半～8月末で検討する。 ○東京大学工学部内の施設を会場とし、来場者の規模は250名前後を想定する。 ○講師（講演者）は最大3名で検討する（組織のバランスを考え、例えば、大学、役所、メーカーで1名ずつなど） ○講演時間は、全体で最大150分（2時間半）する。 <p>慎重審議の結果、原案が承認された。全体テーマ（2案のどちらにするか）を含め、具体的な講演テーマ、講演者については、原案をもとに事務局で進めることになった。</p> <p>[報告事項]</p> <p>i) 役員等の改選スケジュールについて 今年度（令和元年度）で当会の役員等のほとんどが任期満了となるため、改選（選任）の手続きが必要になることが報告され、次年度（令和2年度）の役員等の改選スケジュールと、必要な手続きが説明された。</p> <p>役員等の改選（選任）については、令和2年5月19日開催予定の役員等候補者選出委員会で審議されるため、任期満了となる役員等は、審議のために必要な書類を期日（5月8日）までに事務局に提出することが確認された。</p> <p>ii) 代表理事・業務執行理事の職務の執行状況の報告 令和元年度中・後期（令和元年6月～令和2年2月）の執行状況について報告。併せて代表理事、業務執行理事事務局長の意見交換が随時行われていることが報告された。</p> <p>以上をもって議事を終了した。</p>

以 上